

かの子

岡本かの子・一平・太郎

日時 **11**月**8**日(土) PM7:00より

出演 千賀ゆう子
クヌギタナヲヒト(楽士)

於 猫町西村

料金 2500円(1ドリンク付)◎要予約

岡本一平・かの子・太郎一家は昭和4年に渡欧。4年から7年の滞欧中、一平・かの子がロンドン、ベルリン他からパリの太郎にあてた手紙と、小説『母子叙情』からパリでのエピソード、短編『鮎』をもとに、千賀ゆう子とクヌギタナヲヒトのセッションで紡ぎだす、岡本かの子の世界。

岡本かの子(1889—1939)

歌人、仏教研究家、小説家。画家・岡本一平の妻、岡本太郎の母。

小説『老妓抄』『鶴は病みき』ほか。

出演者プロフィール

千賀ゆう子

女優・演出家、国際演劇協会会員。

京都府出身。早稲田大学国文学科卒業。早稲田小劇場に10年在籍後1982年より千賀ゆう子企画主宰現代演劇の上演と語りの上演を国内外で展開。語りの分野では古典から現代詩にいたるまで幅広く上演。近松はポーランドワルシャワ大学他3都市の招待で公演。平家物語は建礼門院ゆかりの京都長楽寺の依頼で10年間上演。20年以上原文で語り続けている。主宰のワークショップ「平家を語る」も10年目。CDに建礼門院、小相宰の巻。

クヌギタナヲヒト

神戸在住。フリーのミュージシャンとして神戸と大阪を中心に舞台音楽などを手掛ける。舞台作品に、B.ブレヒト『第三帝国の恐怖と貧困』、『コーカサスの白墨の輪』、T.ウィリアムス『ガラスの動物園』等。一時期、舞台役者としても活躍した。他に、ポエトリーリーディングと即興演奏を主体としたユニット「token12-8」や、映像音響作家朝顔ハットとのコラボレーション「朝顔ハットとシャア」などのライブ活動を行っている。日本音楽即興学会会員。

千賀ゆう子とクヌギタナヲヒトのこれまで

2008.4.5 「桜の森の満開の下」(坂口安吾)

2008.7.5 「待つことと忘れること」(モーリス・ブランショ)



猫町西村

〒660-0052

尼崎市七松町2-14-22

JR立花駅より南へ徒歩7分

TEL 06-6417-4560

◎予約・お問い合わせ 090-9676-9848 (寺岡)

た
ま
き
は
る
わ
れ
の
命
を
き
ら
げ
み
つ
つ
。

